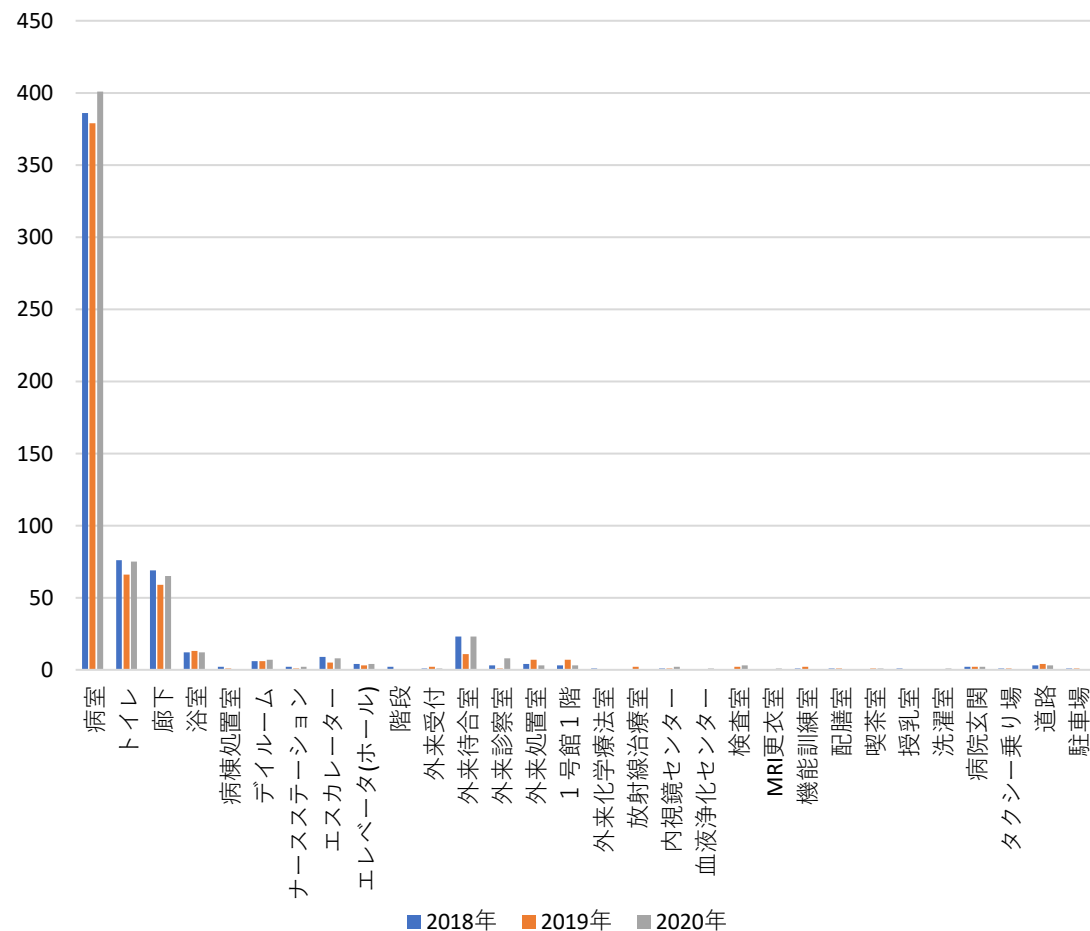
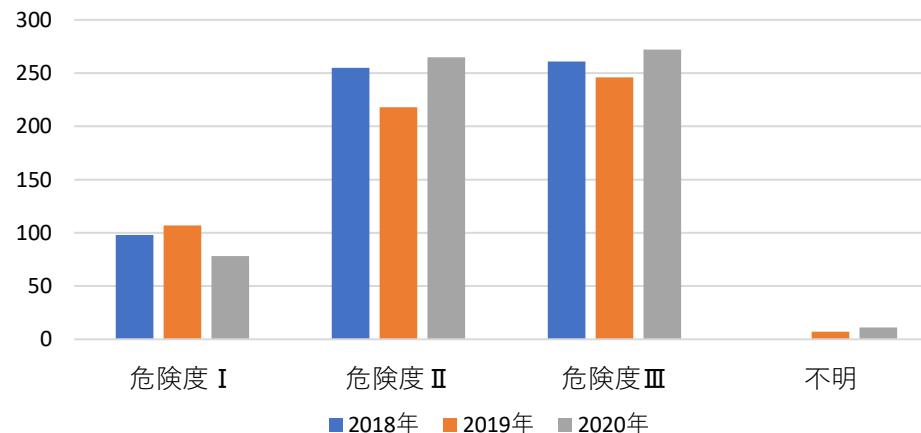


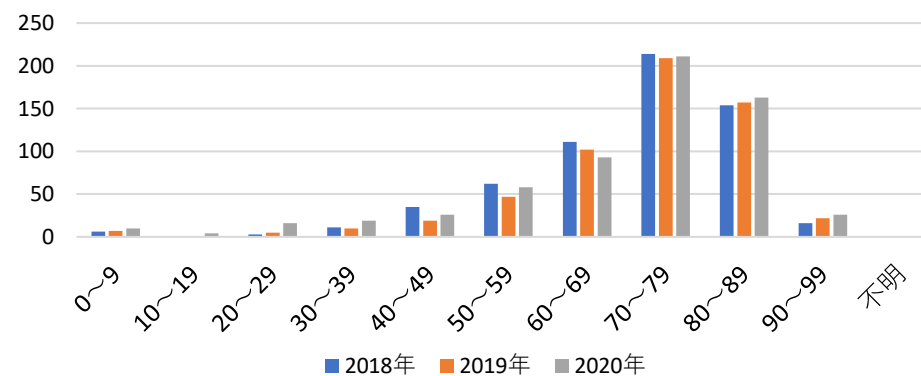
発生場所別 転倒転落発生件数



危険度別 転倒転落発生件数



年齢別 転倒転落発生件数



【指標の説明】

転倒・転落を予防し、発生時の損傷を軽減するために、発生場所、危険度、年齢別の転倒・転落発生件数を把握しています。

発生場所に関しては年度別に変化はなく、重点的に留意すべき箇所が抽出されています。

危険度別では危険度Iであっても転倒転落件数は多いことから、生活環境の変化がもたらす転倒転落の危険性が理解できます。

年齢別では高齢者が多いですが、若年であっても病態による影響もあるため、入院時の転倒転落への注意を患者に促すことの重要性が読み取れます。